

情報活用能力育成 4ステップ

R4 御殿場市教育委員会



～Society5.0時代を生きる御殿場市の子どもが身に付けたい力～

デジタル
シティズンシップ

授業

プログラミング

情報モラル

	ステップ1(小低)	ステップ2(小中)	ステップ3(小高)	ステップ4(中学)
デジタル シティズンシップ	<p>情報機器の基本的な操作ができている。</p> <p>情報機器から必要な情報を集めている。</p> <p>自分たちの身の回りの情報機器に親しみ、進んで利用している。</p>	<p>目的に応じて情報機器を使用している。</p> <p>情報技術を生活に活かそうとしている。</p> <p>身の回りには様々な情報機器があることに気付くとともに、目的に応じて利用している。</p>	<p>情報社会における自分の責任について考えて行動している。</p> <p>情報技術をよりよい生活や学校づくりに活かそうとしている。</p> <p>自分の健康への影響に留意して、身の回りの情報機器を問題の解決や意図、目的に応じて適切に利用している。</p>	<p>情報の誤認性や危険性を理解した上で、適切に行動している。</p> <p>情報技術を自他の生活や学校づくりに加え、持続可能な社会の構築に活かそうとしている。</p> <p>身の回りの情報機器のよさや価値を社会や自らの将来に関連付けて考えようとしている。</p>
授業	<p>人や図書、体験などから様々な情報を集める。</p> <p>集めた情報を自分なりに整理する。</p>	<p>複数の資料から自分に必要な情報に気付く。</p> <p>集めた情報を分類、順番を付けるなどまとめる。</p>	<p>多様な資料から、目的に応じて特定の情報を見つける。</p> <p>考える技法等で問題の解決策を適切に整理し、まとめる。</p>	<p>目的に応じて多様な情報を取り出し、情報同士の関係性を理解する。</p> <p>情報を比較・関連付けたり、多面的に考察したりして考えを明確にする。</p>
プログラミング	<p>問題の解決には必要な手順があることに気付く。</p> <p>身近な生活でICTが活用されていることに気付く。</p>	<p>問題解決の手順は色々と工夫できることが分かる。</p> <p>ICTを上手に使い、身近な問題を解決する。</p>	<p>意図する活動に近づく動きの組み合わせや改善策を考える。</p> <p>各教科等でプログラミングの考えの活用をし、学びを深める。</p>	<p>基本的な仕組みを理解し、適切なプログラム制作や動作確認等ができる。</p> <p>情報の技術と生活や社会、環境との関わりを理解し、課題解決する。</p>
情報モラル	<p>御殿場市「iPad活用のルール」を知っている。</p> <p>パスワードは大切だと理解している。</p> <p>伝えてはいけない情報があることを知っている。</p>	<p>御殿場市「iPad活用のルール」を理解している。</p> <p>パスワードを適切に管理している。</p> <p>自分と他人の情報の大切さを理解している。</p>	<p>活用ルール以外にも著作権等があることを理解している。</p> <p>なりすましなど情報技術の悪用の危険性を理解している。</p> <p>情報発信に責任を持ち、自他の権利を守っている。</p>	<p>情報の保護や取り扱いに関する法律を理解している。</p> <p>自分で情報セキュリティ確保のための対策を実施している。</p> <p>自他の情報を相手や範囲を考えて管理している。</p>